

[luca]

由布聡太郎

[luca]

わたしは飛ぶために去る
最果てに逢って散る
不破、ふわりと落っこちる
ふわりと落っこちて散る

先んじたものは空に向かつて
空洞になって

濁った泥風船が落っこちた
虚んな生活、逃がさないための結び目、破裂した皮膚

ある日、落っこちた

[luca]へずに、とすん

そのまま浮かんで、落っこちた

[luca]バレた、落っこちた

優柔不断な知的言説の果ての果て
蟻地獄みたいな世界だね

望むやつらが覗くだけ蠢く
逆円錐の世界で

汚れた体液を啜って、薄めて、落っこちて
[luca]、慣れるかな、わたし、なれるかな

宵が明けるよ、白んでいるよ